

議 事 録

<p>会議名 第6回第三次町田市地域福祉活動計画推進委員会</p>	<p>開催日時 自：14時00分 平成27年2月27日（金）至：16時05分</p>
<p>出席者 8名</p>	<p>小野敏明・高橋協子・島峯紀子・服部くに子・興野安雄・田中瑤子・岩崎俊男・市川恵子</p>
<p>欠席者 3名</p>	<p>矢島史稔・田部井眞・高階康輔</p>
<p>会長・常務理事兼事務局長</p>	<p>佐々木のり・鏈溝慶一</p>
<p>事務局</p>	<p>坪野法人運営室長兼事業室長事務取扱・飯島地域福祉推進室長・井上主幹・横井主幹・藤田主幹・小野主幹・星統括主査・永田統括主査・荒木統括主査・井藤主査・宮本主査・坂森主査・鴨下主査</p>
<p>配布資料</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 第6回委員会次第 2 推進委員名簿 3 平成26年度基本計画まとめシート 4 平成26年度取り組みの視点別成果判断シート 5 平成26年度重点計画シート 	
<p>開 会</p>	<p>事務局は、定刻となったので開会を告げた。</p>
<p>委 嘱 状 交 付</p>	<p>事務局は、委員改選後初めての委員会であることを伝え、会長から出席委員に委嘱状交付を行った。任期はいずれも平成26年9月1日から平成28年8月31日までである。</p>
<p>委員長・副委員長選出</p>	<p>続いて、事務局が、委員長・副委員長の選出について委員に諮り、事務局案を求められたため、小野敏明氏に委員長、高橋協子氏に副委員長をお願いしたい旨提案した。出席委員が承認し、両名ともに承諾したため、委員長は小野敏明氏、副委員長は高橋協子氏となった。</p>
<p>常務理事兼事務局長挨拶</p>	<p>常務理事兼事務局長は、出席委員に参集のお礼を述べ、第三次町田市地域福祉活動計画推進に対しての協力を依頼した。</p>
<p>委員長、副委員長挨拶</p>	<p>委員長は、3月の国会で審議される議案の一つに社会福祉法改正があり、中でも、社会福祉法人の地域貢献活動の義務付けは、社協がどのように関わるか、意義が問われるものであること、このことは活動計画には入っていないが、事務局で検討いただきたいことを伝えた。また、委員へ活動計画の進行管理の協力を依頼した。 副委員長は、第三次活動計画の円滑な進行管理への協力を依頼した。</p>

議 事 録

<p>委員</p>	<p>委員長は、平成26年度活動計画実施状況評価に入るため、報告を事務局に求めた。</p> <p>事務局は、平成26年度の基本計画別まとめシート、取り組みの視点別成果判断シート、重点計画まとめシートに基づき各実施状況について報告した。</p> <p>委員長は、基本計画1-1に関して委員へ質問、意見を求めたが、声がなかったため、基本計画別まとめシートの評価について委員に諮ったところ、関連事業1から4の今年度評価はいずれもAとなった。</p> <p>続いて、委員長は、基本計画1-2に関して委員へ質問、意見を求めた。</p> <p>福祉サービスを必要とする高齢者等は新聞を購読していない人も多い。社協だよりの情報を本当に必要としている市民へどのように届けるか。</p>
<p>事務局</p>	<p>新聞購読者が減少していることは認識している。社協としても、設置場所の開拓に注力し、新聞折り込みの減少分は、市内大型デパート等へ設置を依頼し、東急ツインズ受付や、施設交番、献血センターに新たに置いていただけることとなった。</p> <p>今年度から広報モニターとして市民5名に依頼し、わかりやすい紙面のため、設置場所を増やすためのご意見を頂戴している。</p> <p>ホームページについても、よりわかりやすくするため、2月にトップページの変更を行った。ぜひご意見を賜りたい。</p>
<p>委員</p>	<p>高齢者福祉センターへ置いてもらえば、高齢者の手に届くのではないか。</p>
<p>事務局</p>	<p>検討したい。</p>
<p>副委員長</p>	<p>福祉情報を必要としている外出困難な市民にどのように提供するか、十分に検討してほしい。</p>
<p>委員長</p>	<p>例えば、社協だよりの広告欄に、高齢者が行きそうな店等の広告を割引券付きで掲載すると広報の効果も見えてくる。</p>
<p>常務理事兼事務局長</p>	<p>市では、以前、外出困難な人への広報手段として郵送をしていた。手元に届けるには費用がかかる現実があり、社協ではそれが問題である。</p>

議 事 録

委員		<p>デイサービス等の送迎バスに置くことができれば、手に取ってもらえるのではないか。</p>
委員	長	<p>市内を走るコミュニティバスも良いかもしれない。</p>
委員	員	<p>今月から市のイベント情報がスマートフォンで流れてくるので、それに加えてもらうのも一つの方法と思う。</p> <p>委員長は、基本計画 1 - 2 に関して他に委員へ質問、意見を求めたが、声がなかったため、基本計画別まとめシートの評価について委員に諮ったところ、関連事業 1 から 2 の今年度評価はいずれも A となった。</p> <p>続いて、委員長は、基本計画 2 - 1 に関して委員へ質問、意見を求めた。</p>
事務局	局	<p>市では、地域住民自らが地域の課題解決に取り組むための仕組みとして、町内会連合会、民生委員児童委員協議会、青少年健全育成地区委員会を基本にし、様々な関係機関と連携しながら、市内 10 地区に地区協議会を設置する計画を立てている。これは地区社協の目的と共通しており、社協としては、地区社協と地区協議会の整合性を整理するため、市との協働について検討を進める予定である。現在、地区協議会は 5 地区設置済みの状況である。</p>
委員	員	<p>地区協議会の流れと地区社協の流れが混在し、社協も困っているだろうと推測する。町内会自治会連合会においても、地区協議会の勉強会を行っている。地域ごとに個別課題があるため、自分の所属する地域では、見守りを行う意見が出ている。地区協議会設置の流れが主流でも、社協における重要なテーマがあると思うので、共通するものがあれば協働すればよいのではないか。地区によっては、設置に時間が必要な所もある。</p>
委員	員	<p>老人クラブにおいても市から説明を受けたが、設置された地区協議会には、老人クラブとしての関わりはない状況である。地区社協と地区協議会の目的が共通することだが、社協はいままでの実績があるので、社協の役割があるのではないか。</p>
委員	員	<p>地区協議会には部会が設置されている所もあり、まずできることから始めようというスタンスである。</p>
事務局	局	<p>地区協議会では、地域の福祉課題の取り組みが大前提とされている。その仕組みが不明確な箇所もあり、社協としてはできるだけ</p>

議 事 録

		<p>連携を図りたい。</p>
会 長	事務局長	<p>地区協議会の会議は、社協として全てに出席できるのか。</p>
事 務 局		<p>全ての会議に出席可能である。</p>
委 員 長		<p>地区協議会について、設立を中心に行い、あとは住民に任せるとなりがちである。行政の役割と住民の役割を明確にする必要がある。</p>
委 員		<p>市からやるべきことが提示されるのではなく、住民同士で課題を基に何をしていくのか考える過程がないといけないのではないか。</p> <p>委員長は、基本計画 2 - 1 に関して他に委員へ質問、意見を求めたが、声がなかったため、基本計画別まとめシートの評価について委員に諮ったところ、関連事業 1 の今年度評価は A となった。</p> <p>続いて、委員長は、基本計画 2 - 2 に関して委員へ質問、意見を求めたが、声がなかったため、基本計画別まとめシートの評価について委員に諮ったところ、関連事業 1 から 3 の今年度評価はいずれも A となった。</p> <p>続いて、委員長は、基本計画 3 - 1 に関して委員へ質問、意見を求めた。</p>
副 委 員 長		<p>ふれあいサロンの解除理由と、数の減少の理由はどのようなものか。</p>
事 務 局		<p>スタッフの高齢化や、子育てサロンの場合は子どもが大きくなり子どもの関わる場所が変わる場合がある。また、社協の支援がなくとも自分たちでサロン運営が可能になることもある。</p> <p>市が子育て支援に力を入れており、制度の充実も背景にあると思われる。</p>
委 員		<p>仲間の子の介助員について、新規登録が 2 名とのことだが、全体では何名か。</p>
事 務 局		<p>介助員は 30 名程の登録がある。その中で常に活動できる人は 3 分の 1 程度。随時募集しているが、登録が少ない。</p>
委 員		<p>放課後児童デイサービスが市内 13 か所設置されている。その影響はあるか。</p>

議 事 録

<p>事 務 局</p>	<p>仲間の家の利用減につながっている。仲間の家は送迎がないため、自宅の近くにあると利用しやすいというメリットがある。すみれ教室で、仲間の家事業の周知も行っている。</p> <p>ここで委員より、ふれあいサロン助成金の使途について個別事例の質問があった。事務局より、個別に説明させていただきたいことを依頼し、承諾いただいた。</p>
<p>副 委 員 長</p>	<p>東日本大震災の避難世帯の67世帯は、社協が把握しているのか。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>市内には130世帯程いることが市の調査で分かっている。その中で、社協から連絡できている世帯が67世帯である。</p> <p>委員長は、基本計画3-1に関して他に委員へ質問、意見を求めたが、声になかったため、基本計画別まとめシートの評価について委員に諮ったところ、関連事業1から4の今年度評価はAとなった。</p> <p>続いて、委員長は、基本計画3-2に関して委員へ質問、意見を求めたが、声になかったため、基本計画別まとめシートの評価について委員に諮ったところ、関連事業1から2の今年度評価はAとなった。</p> <p>続いて、委員長は、重点計画1から3に関して委員へ質問、意見を求めた。</p>
<p>委 員 長</p>	<p>5月に行われた南町田福祉ネットワークの地区社協設立総会で講演させてもらった。週1回の住民による住民のための相談会があることが魅力。他の地域でもこのような取り組みがあるとよいと思う。</p> <p>委員長は、他に声になかったため、社協組織の基盤強化についての報告を事務局に求めた。</p> <p>事務局は、職員の育成についてコミュニティソーシャルワーカー研修の実施状況、財源確保について会費と寄附の税額控除についての研究を始めていることを報告した。</p>
<p>委 員 長</p>	<p>コミュニティソーシャルワーカーは最近テレビで取り上げられているが、もっと住民に理解されるよう周知されていくとよいと感じる。</p>

議 事 録

<p>委 員</p>	<p>コミュニティソーシャルワーカー研修を職員が受講し、どのようにしていくか町田社協としてのビジョンはあるのか。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>基本計画 3-2にある、複合的な相談に対応できる総合的支援部門の設置の検討の中でも、コミュニティソーシャルワーカー研修を基に、単なる相談窓口設置で終わるのではなく、職員一人一人が対応できるスキルや知識を身に付けるという見通しを立てている。</p>
<p>委 員</p>	<p>計画の目標とその実績がとてもアバウトでいかようにも解釈できる内容になっていないか。</p>
<p>常 務 理 事 兼 事 務 局 長</p>	<p>第三次の計画も来年度からは4年目に入るので、成果指標の目標の立て方をより具体的にし、目標に対する結果だけでなく、結果から見えたもの、求められるものを明確にするよう努めたい。</p>
<p>委 員 長</p>	<p>例えば、学童児の兄弟姉妹が不登校であるとか、引きこもりであるという実情があった場合には、単に学童児一人ではなく、家族全体を支援する視点がないと、学童児の精神的な安定は図れない。</p> <p>相模原市では、市の地域福祉計画で22の地区社協それぞれにコミュニティソーシャルワーカーを5年間かけて配置する計画を立てている。来年度から3つの地区社協にモデル配置する。生活困窮者自立支援法施行に合わせて、コミュニティソーシャルワーカーを配置する自治体が多くなっている。金銭的な生活困窮者だけでなく、ゴミ屋敷、自殺企図、引きこもりといった制度の狭間で苦しむ生活困窮者を支援する職員が必要である。</p> <p>これ以上委員からの意見はなく、本日の検討事項はすべて終了したため、委員長は、その他の事項について事務局に報告を求めた。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>事務局は、次回の日程について、6月中旬から下旬とし、具体的な日程は、改めて通知することを報告した。</p> <p>また、今後の予定について、市の地域福祉計画が28年度から新しくなるため、未来づくりプランとの連携も含め、第四次の活動計画の策定については、市と摺り合わせを行い進めていくことを説明した。</p>
<p>会 長 挨 拶 閉 会</p>	<p>以上ですべての内容が終了したため、会長は、本日の審議協力に礼を述べ閉会とした。</p>